

「?→!」～好奇心を育てる～

校長 嶋見 靖之



6月を迎えました。浜には「ハマヒルガオ」が、海岸の岩肌には「カンゾウ」の花が咲いています。季節それぞれに花が咲く高千・外海府地区の豊かさは、私たちの心を和ませてくれます。

さて、5月31日（水）の全校朝会で、私は「タコライス」の話をしました。「タコライス」は、沖縄で生まれたソウルフードです。

「タコライス」の名前を初めて聞く子どもたちは、「タコ」は「蛸」だと思って、いわゆる「たこめし」のことを想像しました。私は「違うよ」と言って、左の写真を見せたのです。そして、これがメキシコの料理「タコス」を日本のご飯とあわせて作った料理であることを伝えました。（その後、食べられれば良かったのですが…。）

そして最後に、この話にかかわっているときの気持ちの変化について子どもたちに話しました。タコライスを知らない子どもたちの頭の中には「？」が浮かんだと思います。そして、考えて「たこめし」と想像しました。でも、それは違って上の写真のような料理だとわかったとき、子どもたちの頭の中には「！」が浮かんだのではないかと。

「？」の中にはモヤモヤ感やドキドキ感（ひそかにワクワク感も）があり、それだけでは不安です。しかし、人間はより良く生きようとしめます。この場合は「好奇心」という心のパワーが働きます。このパワーで「？」を解決したとき、「！」に変わります。そこには、ヤッター感とかスッキリ感が生まれる。この感情、つまり達成感や成就感は、「自信」につながります。

さらに、「？」を解決するため、自分で調べたり、試したり、仲間と一緒に考えたり…、こうした「過程」があると、もっと強い「！」が生まれます。

「！」のスタートは「？」です。今回の話の中では、タコライスについて、蛸が入っているわけではないこと、もとはメキシコの料理だということ、沖縄のソウルフードであることは伝えました。しかし、材料や味は伝えていません。

さらに、どうしてメキシコの料理が沖縄のソウルフードになったのか、問うことで新たな「？」が生まれるでしょう。

新たな「？」は、新たな「ひと・もの・こと」とのかかわりから生まれます。そして、大人の「問い」は、新たな「？」を生み出す大切なはたらきかけになります。

子どもたちには、「？」を見つけるコツを2つ伝えました。一つは「見る・聞く」、もう一つは「未知へのチャレンジ」です。

高千小学校は、「？」をもち、「！」を求める、子どもの「好奇心」を育てたいと思います。それが、教育目標「ちえのだせる子」の育成につながり、現代を象徴する「未踏の時代」を生きる子どもたちを育てることにつながるからです。